



小学生の”LINEトラブル”とは？

本校の児童の中にも、ケータイ・スマホで連絡を取り合っている子はおりますし、ゲーム機を通じてオンラインで他の人と通信している子もいます。アンケート等で実態把握には努めていますが、真の実態は利用者である本人にはわかりません。もしかすると、保護者の方といえども、お子さんの実態を確実に把握はできていないのかもしれない。

最近、世間では「小学生によるLINEトラブル」が問題になっています。今どきの中高生の部活の連絡などは、全てこのLINEで行われているんだそうですね。ですから、おうちの方も十分に使いこなしているかもしれません。小学生が陥りがちなLINEトラブルの原因とは一体何なのでしょう。

1 既読無視

LINEにはメッセージを読むと「既読」マークがつき、相手を読んだことを知らせる機能がついています。この「既読」マークがついているのに、返信がないことそのままにしていることを「既読無視（既読スルー）する」と言われ、特に若い人たちからは「既読スルー=やってはいけない」という固定観念すら持たれていることも少なくありません。読まれているものの無反応だったことで「無視された！あいつおかつく！」と受け取ってしまい、トラブルへと発展するのです。

2 未読無視

既読無視と似ていますが、ちょっと違うのが未読無視です。既読がつかないまま、内容を見ていないままにしている状態のことです。「見ていない=無視された」という感じがするというのがトラブルの理由になります。また、相手をブロックしているとメッセージを受け取ってもわからず「既読」がつかないままになることから、「ブロックされたのでは？」との不安感を与えることにもなるようです。

3 グループトークでの悪口

クラスメイトや部活のメンバーなど、数人でグループを作成してみんなで話ができるラインのグループトークでのトラブルも少なくありません。一方的に、グループ内の友だちから悪口を言われた、自分だけ無視された、またグループから外されて陰で悪口を言われているなどのトラブルが増えています。

4 言葉のとらえ方/言い間違い

LINEでのやり取りは短文が多く、ポンポンとチャットのように進んでいくことも多くあります。

A子：こんなバッグ買ったよ♪（バッグの写真を送信）
B美：いいね～！ C子：**このバッグ、かわいくない～www**

C子はかわいくない？と疑問形で好意的に発言したつもりでも、「？」をつけ忘れて「かわいくない」という否定形として取られて、不快に思われてしまうこともあります。ラインでは文面だけのメッセージで相手の表情が見えないため、スムーズに意思疎通が取れず誤解を招きやすいのです。

5 知らない人と友達になる

見ず知らずの人と友だちになることで、予想もしなかったトラブルに巻き込まれることもあります。実際に会う約束をしたり、指示された通りに従った結果、事件に巻き込まれたりすることも少なくありません。また、個人情報を知られることによって、相手から電話がかかってきたり、脅されたり、何かを要求されたりと、怖い思いをするというトラブルも増えています。

【では、どんな防止策があるのでしょうか？裏面に続きます。】

”LINEトラブル” 4つの防止策

小学生がLINEトラブルに巻き込まれないためにも、親ができる防止策があります。「よくわからないから」とそのままにしておかず、親子で話し合い、LINEに振り回されることのないよう、上手に付き合えるように教えていきましょう。

1 スマホの使用ルールを決める

無用なトラブルに巻き込まれないためにも親子で話し合っ、ルールを決めておき、親が決めつけるだけでなく、子どもに危険性ややってはいけない理由を、きちんと納得させてから使うようにしましょう。ラインのスマホルールの例としては、下記のことを決めておくことが多いようです。決める際の参考にしてみてください。

- ・ゲーム・アプリなどに無断で課金しない
- ・自分の写真を投稿しない
- ・公共施設ではスマホを使わない
- ・夜8時以降は禁止する
- ・食事時の使用はNG
- ・歩きスマホはNG
- ・家で使う時はリビングのみにする
- ・アプリは親がダウンロードする（iPhoneの場合はパス設定ができます）

2 設定をする

子どもにLINEを利用させている親自身も、LINEの使い方をしっかりと把握しておく必要があります。「ラインって言っても、ただのチャットでしょ?」と好きにさせておくと、子どもも気づかぬうちに深刻なトラブルに巻き込まれてしまうことも考えられます。機械に疎くてわからないというママも、子どもに使わせるからこそ、自分も使えるように使用方法を知っておきましょう。

3 マナーを教えることも重要

誰だって「消えろ」「うざい」と言われるとつらいですね。文面だけのやり取りになるので、LINEトラブルを防ぐためにも、子どもの言葉遣いにも注意するように意識させましょう。「人の悪口や陰口を言わない」というルールや基本的なモラルを守らせることが、自らを守ることにになると教えることも大切です。高校生になると不適切な発言を繰り返したりすることで、LINEが原因で退学になる生徒もいるほどです。基本的なことは今のうちにしっかり教えておきたいですね。

4 「持たせない」という選択肢もあり

小学生のうちからLINEにハマリ、暇な時間はすべてLINEに没頭…。LINEにどっぷりと依存してしまうと、そこから抜けるのが大変になります。中学生、高校生になるとスマホは必要になるかもしれませんが、自分で使いこなせないうちは持たせない、使わせないという選択肢もあります。無理をして周囲に合わせる必要もありませんので、スマホを持たせるかどうかは親子でよく話し合ってから決めていきましょう。

【マーミー：「すてきなママになるための子育てメソッド」より】



地域の方から本を寄贈していただきました。日本の歴史、世界の歴史のシリーズなど、学習に役立つ本がいっぱいです。暑くて外で遊べない日が続いていますので、涼しい図書館で読書に親しんでみましょう。本当にありがとうございました。